

# 海老名災害ボランティアネットワークだより



第28号

発行 海老名災害ボランティアネットワーク(海老名災ボラ)  
 事務局 海老名市上郷 474-1 海老名市社会福祉協議会地域福祉課内  
 ホームページアドレス <http://www.ebina-saibora.net/>

「第15回定期総会」を4月16日(土)に開催し、次の議案が審議・承認されました。

- 第1号議案 平成27年度事業報告
- 第2号議案 平成27年度収支決算報告・会計監査報告
- 第3号議案 平成28年度役員選出(案)
- 第4号議案 平成28年度事業計画(案)
- 第5号議案 平成28年度予算(案)

## 平成28年度事業計画

海老名災害ボランティアネットワークは、

- ① 災害発生時における、災害ボランティアコーディネーターの育成、ならびに災害ボランティアコーディネーターとしての活動組織の構築、
  - ② 災害発生時の救援活動に必要と認められる団体やボランティア及び、行政等諸機関との連携を図り、相互に助け合う市民社会の形成を目指す、
- ことを目的に、規約第3条に準じて、次に掲げる事業を推進する。

(平成28年4月～平成29年3月)

| 事業                               | 内 容   |
|----------------------------------|---|
| 災害発生時のネットワークの活動拠点ならびに活動組織等の体制の整備 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害救援ボランティアセンターマニュアルの整備・検証</li> <li>・災害救援ボランティアセンター活動体制の整備</li> </ul>  |
| 災害発生時を想定した各種模擬訓練                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内各地・各団体開催の防災訓練に参加・協力</li> <li>・災害救援ボランティアセンター模擬訓練の実施</li> <li>・災害救援に関するシミュレーション訓練の実施</li> </ul>  |
| 必要と認められる各種講習会等の開催                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害救援ボランティアコーディネーター養成講座の開催<br/>(海老名市・社会福祉協議会と連携強化)</li> <li>・各種勉強会等の開催(会員以外の方の参加も含めて)</li> </ul>   |
| 各種団体ならびに行政等諸機関との情報交換・交流等への取り組み   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・海老名市、海老名市社会福祉協議会、災ボラの連絡会議の※</li> <li>・市民活動団体(自治会・各種団体を含む)との連携協力<br/>(各団体との話し合いを出発点に減災活動の普及)</li> <li>・県災害ボランティアネットワークと連携した防災減災活動<br/>(現在、県レベル、県央レベルで実施されているもの)</li> <li>・近隣の災害ボランティアネットワークとの連携<br/>(情報交換や共同での減災活動の実施などを含む)</li> </ul>                     |
| 広報、啓発活動                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・機関紙「ネットワークだより」発行(年2回)</li> <li>・災ボラのホームページによる情報提供(更新の充実)</li> <li>・「市民まつり」「安全・安心フェスティバル」「ボランティアフェスタ」<br/>など海老名市及び関係団体主催イベント会場で啓発活動</li> <li>・小学生等への啓発活動(えびなっ子サマースクール、ふくし教室等)</li> <li>・災ボラ主催の減災体験活動による海老名市民への啓発</li> <li>・市や社協などが主催する各種講演会等に参加</li> </ul> |
| その他、目的達成のため必要と認められる事項            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・減災活動に関連する各種情報の収集</li> </ul>  |

# 平成27年度(下期)活動報告

## 『中新田自治会の防災訓練』…に協力、「水運び訓練」などを実施

平成27年11月1日(日)

中新田自治会が主催する防災訓練に協力して、海老名災害ボランティアネットワーク(略称; 災ボラ)から4名の会員が参加し、水運び、ロープワーク、三角テントの展示などを行いました。

災ボラ側でさまざまな「水を運ぶための容器」や、容器がない場合には「段ボール箱の中にビニール袋を入れた非常用の容器」を準備しました。中新田自治会の皆さんには、こうした容器に水をこぼさないように入れて、水をこぼさないように数十メートル歩く訓練をやってもらいました。

「水運び」は、地震などで電気や水道が止まった場合、非常用水源や給水車から、それぞれの家へ「飲料水」などを運ぶ訓練です。エレベーターが止まった団地の上層階に水を運ぶことはかなり大変なことです。また、給水車から自宅まで運ぶ場合でも長い距離だとかなり大変です。

皆さんに水運びの大変さを実感してもらいながら、自分に適した大きさの容器と水を平常時に準備しておくことの重要性を再確認してもらいました。



【ロープワーク訓練】



【トン汁の販売】

## 『第3回 えびなボランティアフェスタ』…に参加

平成27年11月1日(日)

社会福祉協議会主催のえびなボランティアフェスタが海老名総合福祉会館で開催されました。当日はお天気も良く災ボラブースでは災害時に活躍するレスキューキッチンを使ってトン汁を作り販売しました。

大きめにカットした具材は味がよく浸み、見栄えもよく終了前に完売しました。トン汁を手にしたレスキューキッチンに興味深そうに見ていたお客様もいました。

## 『ふくし教室』…を開催、「災害対策用携帯ミニポーチ」

の活用を小学生に説明 (杉本小学校)

平成27年12月15日(火)

海老名市では、小学校に入学すると全員に「災害対策用携帯ミニポーチ」(以下、ミニポーチと略す)が渡されます。この中に入っている物の活用方法について、災害ボラの代表が海老名市の小学生に説明しました。

このミニポーチには、災害時に生きのびるために必要なものが入っています。

IDカード(氏名、住所、生年月日、電話番号、緊急連絡先などが記載されたカード)、緊急事態を知らせるホイッスル、少量の飲料水、栄養補助食品、簡易トイレ(ビニール袋と吸水シート)、救急絆創膏、地震対策ガイドブック(家族と相談して記入する部分があるなど)が入っています。それぞれの使い方を説明すると同時に、付け加えた方がよいものについても提案しました。災害はいつ起こるか分からないので、家にしまっておくのではなく、「いつも持ち歩いて欲しい」と呼びかけました。災害発生時のシェイクアウト訓練も実施しました。

海老名市社会福祉協議会が実施した「ふくし教室」の一環として実施したもので、平成27年9月には東柏ヶ谷小学校1年生に行い(ネットワークだより第27号に掲載)、12月15日には杉本小学校3年生(約100人)に対して説明会を開催しました。



## 『イオン 幸せの黄色いレシート キャンペーン』…贈呈式に出席

平成28年4月9日(土)

イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン27年度分の贈呈式がイオン海老名店で行われました。イオンギフトカードで授受額27,400円を受領しました。海老名災ボラを御支援下された皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 『福祉避難所開設・運営訓練』…に参加

平成28年2月13日(土)

総合福祉会館において福祉避難所開設・運営訓練が行われました。

訓練に先立ち、市長の挨拶のなかで、「大災害時には、市役所職員が、避難所運営すべてを行う事は困難なため、特に、避難所の運営は、避難者が主になって運営して頂きたい。」と話されました。

訓練は、都心南部直下地震が発生、『市内は甚大な被害(震度6強の揺れを観測し、建物被害約5千棟、避難所避難者数約1万人)に見舞われ避難所の開設期間は、最低でも1ヶ月以上は続くことが見込まれる』ことを想定し、実施されました。

市民約45名の方が避難者となり参加、受付で、「要介護者役」と「情報班」「救護班」「物資班」「衛生班」の担当が割り当てられました。

「情報班」は、避難者台帳管理。「救護班」は、医療機関把握・健康管理。「物資班」は、食料調達・調理。「衛生班」は、衛生管理・トイレ設置を役割として与えられました。

EDVNからは3名が参加し、2名は物資班として食料準備の為、レスキューキッチンを用いて湯沸かしをし、アルファ米で非常食60食をつくり、1名は要介護者役となり「救護班」による健康対策として、体操を指導されました。

### 【豆知識…「福祉避難所」に関して】

市では、総合福祉会館とわかば会館の2カ所が福祉避難所に指定されています。

総合福祉会館は、一般の避難所での生活が困難な高齢者対象になります。また、わかば会館は、障害者を対象としています。

福祉避難所への受け入れは、一般の避難所に避難していて、そこでの生活が困難だと思われる方と面談をした結果で決定します。

また、福祉避難所の開設は全避難所での面談が終了し、ライフラインが復旧しはじめる、災害発生から概ね3日後となります。



【内野市長挨拶】



【衛生班による仮設トイレ組み立】



【三角テント設営体験】

## 『海老名市ボランティア連絡協議会研修会』

…に参加

平成28年2月26日(金)

総合福祉会館で開催された海老名市ボランティア連絡協議会研修会に講師として参加しました。

体験型ですので、参加者は見学するのではなく、参加者が自ら手をだして体験していただく研修会です。

非常時トイレ活用体験、ブルーシートの活用・ロープワーク体験、明かり作り体験の各項目を参加者全員に体験していただきました。

体験の内容は、

① 非常用トイレ活用体験では、下水道の安全性が確認されるまで水も流せない状況になることから、ビニール袋を使用して、トイレの用をたす方法を体験していただきました。

② ブルーシートの活用・ロープワーク体験では、ブルーシートを使用して三角テントを設営するのに必要なロープの結び方を体験し、ブルーシートを使用して三角テントを設営する体験をしていただきました。

③ 明かり作り体験では、懐中電灯やLEDライトに半透明のビニール袋を被せての明かり作りやティッシュペーパーをよじり灯心にして食用油を使用するランタン作りを体験していただきました。

参加していただいた皆様から、ためになったとのお言葉をいただき、ありがたく思っています。

海老名市ボランティア連絡協議会会員の皆様が多数(約80名)御参加いただき、盛況でした。

# 地震時の安全の基本行動を身につけよう！

全国各地で「シェイクアウト」という新しいタイプの防災訓練が広がっています。

このシェイクアウト(防災訓練)の目的は、●地震にあっても「ケガ」をしない

- 身近な人を助ける
- 地域防災力向上に貢献できる人を育てる

地震が発生した時

## ＜自分自身の命を守る基本行動＞

- 1 姿勢を低く
- 2 体・頭を守って
- 3 揺れが収まるまでじっとして

## ＜あなたの住まいの安全対策を＞

- テーブルなど「動くもの」の固定
- 食器棚など「倒れるもの」の固定
- 「飛び出すもの」「落ちるもの」の固定
- 「割れるもの」への対策など

## 会員募集

災害時以外の日々の活動も・・・

「自分も何かの役に立ちたい！！」

そんな気持ちをお持ちの方、大歓迎！！



いざ災害、というとき  
助け合える市民のネットワークづくりに  
あなたの力を貸してください。  
年齢性別は問いません。

年会費

- 1 □ 1000円
- 個人会員 2□以上
- 賛助会員 1□以上
- 法人・団体会員 3□以上

お問い合わせ

〒243-0434  
海老名市上郷 474-1  
海老名市社会福祉協議会地域福祉課内  
海老名災害ボランティアネットワーク  
Tel. 046-232-1600  
Fax. 046-232-9561

編集後記:

去る4月14日午後9時26分ごろ、熊本県を震源とする最大震度7の強い地震が発生し、その後の余震も加わり、多大なる被害を被りました。被災され、また亡くなられた方々に深い哀悼の意を表するとともに、一日も早い復興を願います。  
日本列島いつどこで地震などの大災害が起こるか知れません。いざという時には普段の心構えや訓練が活かされます。  
EDVNでは「招かざる客」災害に備えた活動を行なっていきます。皆さまのご協力をお願いします。

(gejimon)